



大阪錦繪新聞

第貳号

四橋西地情郎
猩々堂九化記

子代の白牡丹
律とわくこと
おさうら

新町南通三丁目木原の店を依りて縁どる
小櫻といふ娼妓の艶容名の如くまろく
赤心の強氣ハは男も及ばず奴の小嵩も
肌足で逃出―巴枝額も今あつた
降余をすく―爰は再ける人カ
車的一件ハ新町中不評判高
風説紛々何事かを是ありと
記者も判せを其實説を
正さんとあふ一擬樓は登上
あつて其本人ハ聴聞あまう

毎本一圓

彫
石

